

I 教育目標			
○進んで学ぶ子	◎思いやりのある子	○元気な子	(◎は重点目標)

II 経営方針	
目指す学校像	<p>笑顔 あいさつ 思いやり みんなかがやく南陽小</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童にとって・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・毎日笑顔で過ごせる学校 ○保護者にとって・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを託せる学校 ○地域にとって・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・誇りに思いともに歩める学校 ○教職員にとって・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・活力があり、やりがいを感じられる学校
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで学ぶ子 → [知：賢さを目指して] <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現する子 ◎思いやりのある子 → [徳：優しさを目指して] <ul style="list-style-type: none"> ・自分や周りの人を大切にする子 ・「人として」あるべき姿を体現する子 ○元気な子 → [体：逞しさを目指して] <ul style="list-style-type: none"> ・強い心や気持ちで粘り強く取り組む子 ・運動に親しみ健康を意識する子
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○「誇り」と「使命感」をもった、プロ意識のある教師 ○児童理解に努め、「人として」あるべき姿を示せる教師 ○「わかる授業」「惹きつける授業」の実践に努める教師 ○研修に励み、学び続ける教師 ○学校を愛し、地域を愛する教師
経営理念	<p>本校は一昨年度開校50周年という節目の年を迎え一つの区切りを終えた。今年度は、積み上げてきた歴史を継承しつつ、時代と社会の変化に順応しながら新たな歴史を創造していく学校づくりに努める。</p> <p>さらに、すべての子どもたちが、「人として」をキーワードに、思いやりをもって、認め合い高め合いながら自己の目標に向かって努力する学校を目指す。</p> <p>教職員の協働によって目標を達成していける学校経営を進める。</p> <p style="text-align: center;">～ Well-being な 南陽の教育 ～</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 目指す児童像の追求、徹底 <ul style="list-style-type: none"> ○重点項目に掲げている「思いやりのある子」の育成に向け、教職員が一丸となり、「人として」あるべき姿を体現できるような教育活動の推進に取り組む。 (2) 目指す教師像の追求、徹底 <ul style="list-style-type: none"> ○「人として」あるべき姿を示しつつ、児童の努力を認め、褒め、意欲を喚起するとともに、誇りと使命感をもって常に学び続ける姿勢で教育活動に取り組む。 (3) 学年・学級・専科経営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○居場所のある学年・学級づくりを心がける。 (4) 児童理解に基づく授業改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決型学習を推進し、主体的・対話的で深い学びとなる授業づくりに務めるとともに、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		豊かな心の育成
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育む。 ○自分や周りの人を大切にす優しい気持ちを育む。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○「ＱＵ調査」を活用し児童理解に努めるとともに、受容・共感・肯定、豊かな感性、コーチング手法を用い、子どものよさや可能性を引き出す。 ○人生の三原則「時を守り、場を清め、礼を正す」や学びの三原則「挨拶、返事、履物」を徹底するとともに、「人として」あるべき姿の体現と人権教育の推進を図る。 ○いじめや仲間はずれ、いじわるのない帰属意識がもてるような温かい集団をつくるとともに、「南陽小いじめ防止対策基本方針」の徹底、及び「ふれあい月間」の充実に努める。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	肯定的なフィードバックを実施し、学級を「親和的でまとまりのある学級集団」にする。	アンケート調査において「自分が好き、周りの役に立てる、自分の意見が言える」と回答する児童を80%以上にする。
2	人生の三原則「時を守り、場を清め、礼を正す」や学びの三原則「挨拶、返事、履物」を意識した指導を徹底する。	アンケート調査において「規範意識を高めようと努力している」と回答する児童を80%以上にする。
3	いじめに関する授業を年間3回実施し、いじめの未然防止・早期発見に努める。	アンケート調査において「いじめは絶対してはいけない」と回答する児童を100%にする。

重点領域 2		確かな学力の定着
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じたきめ細かい教育を充実させ、基礎・基本を着実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力の育成を通して活用する力を育む。 ○自らAARサイクルを回し、問題を解決することができる力を育む。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○「主体的に学ぶ授業」、「学び合う・響き合う授業」を実現し、AARサイクルとフロー体験のある授業展開に努める。 ○こうとう学びスタンダード(学び方、体力、国語、算数、英語)の指導を徹底するとともに、「学びスタンダード強化講師」等の人的支援を効果的に活用する。 ○1時間ごとの学習のねらいを明確にした指導計画(週案簿)を作成・活用するとともに、「わかる、かかわる、できる」喜びを感じられる惹きつける授業づくりに努める。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	体育科の校内研究を通して、教材の工夫、運動量の確保、肯定的な言葉かけを積極的に行い、それらを継続して推進する。	アンケート調査において「体育の学習が好き」と回答する児童を85%以上にする。
2	UDの視点(焦点化・視覚化・共有化)による授業の推進を通して、学びスタンダードの定着を図る。	スタンダード定着度調査においてその正答率を80%以上にする。
3	家庭学習(10分×学年)の定着に向け、家庭への啓発と児童への指導を行う。	アンケート調査において「家庭学習の習慣が身に付いている」と回答する児童を70%以上にする。

重点領域3		コミュニティの充実	
中期経営目標	○外部の教育力を積極的に活用し、教育の充実を図るとともに、子ども一人一人の力を最大限に伸ばすことができる支援体制を確立する。		
短期経営目標	○同学年や異学年との交流や、地域の方との交流を生かした教育活動を推進する。 ○特別支援教育コーディネーターを中心に、SCや関係諸機関との連携を深め、特別支援教育の充実を図る。 ○保護者や地域、教育関係機関(保幼小中高大等)、スポーツ関係団体との連携・協力を通して、豊かで多様な学びを実現する。 ○生活科や総合的な学習の時間を中心に、江東区の自然や文化施設を積極的に活用し、「ふるさと南陽」を愛する子どもを育む。		
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	体育的行事や学芸的行事、特別活動等の充実を図り、児童の豊かな感性と想像力を高める。	アンケート調査において「南陽小学校としての特色を感じる」と回答する児童を70%以上にする。	
2	ホームページや学校・学年だより、メール等を活用し、教育活動の見える化を図る。	アンケート調査において「学校の様子がわかりやすく伝わる」と回答する児童を80%以上にする。	
3	地域の人材を活用した授業や地域を素材とする授業を積極的に実施する。	アンケート調査において「保護者や地域の人と協力している」と回答する児童を80%以上にする。	